

令和3年度 学校評価 アンケート結果

松前町立古城幼稚園

【学校評価の作成について】

- 1 評価時期 令和3年12月
- 2 評価方法
質問用紙によるアンケート調査
昨年度までは評価項目が羅列されていたため、今年度は評価の文言について項目ごとにまとめました。
- 3 調査対象と回収率
保護者36名（回収率 100%）教職員および学校生活支援員7名（回収率100%）
- 4 評価基準
◎：8割以上が肯定 ○：6割以上が肯定 △：6割未満が肯定
- 5 評定基準
A：目標を達成 B：8割以上達成 C：8割未満の達成
総合評定において、保護者と教職員の評価に差があった場合は低い方の評定とする。
評定にかかわらず、改善策を検討するものとする。
アンケートの自由記述については、多数の意見があったものおよび必要性が高いものについて抜粋した。

令和3年度 学校関係者評価委員

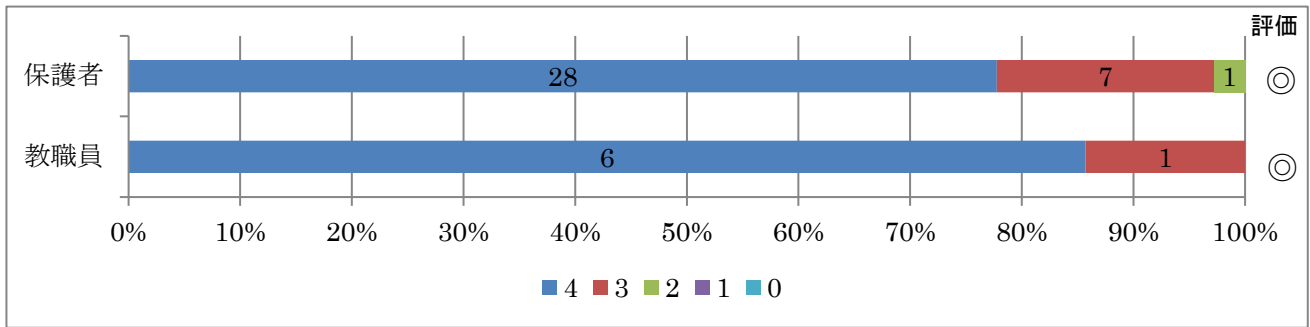
役 職 等	氏 名
元幼稚園長	烏 谷 良 子 様
松前町子育て・健康課係長	喜 安 祐 子 様
地域協力者	藤 野 辰 磨 様
地域協力者（更生保護女性会）	山 本 佐 津 貴 様
古城幼稚園PTA会長	山 田 麻 由 実 様

令和3年度 本園職員

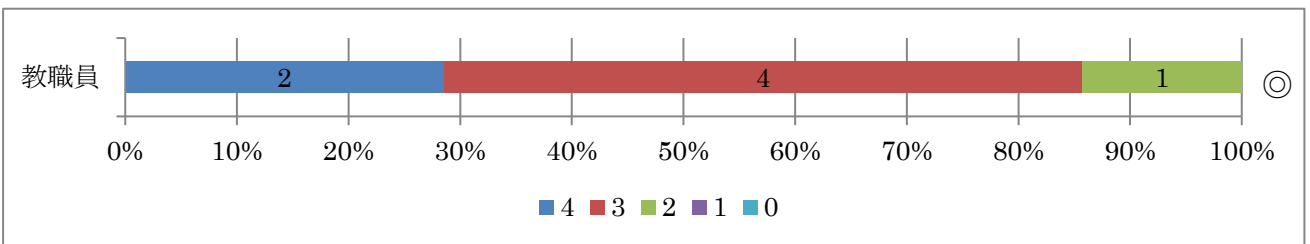
職 名 等	氏 名
園 長	川 下 三 枝 子
主任教諭（5歳児 きりん組担任）	俊 成 敦 美
主任教諭（3歳児 うさぎ組担任）	渡 邊 裕 月
臨時教諭（4歳児 くま組担任）	溝 脇 治 果
パート教諭（フリー）	宮 本 千 尋
学校生活支援員	武 智 幸
学校生活支援員	坂 口 亜 由 美

1 教育目標・教育課程

① 園行事は感染症対策をした上で内容を工夫し、適切に実施されてきましたか。



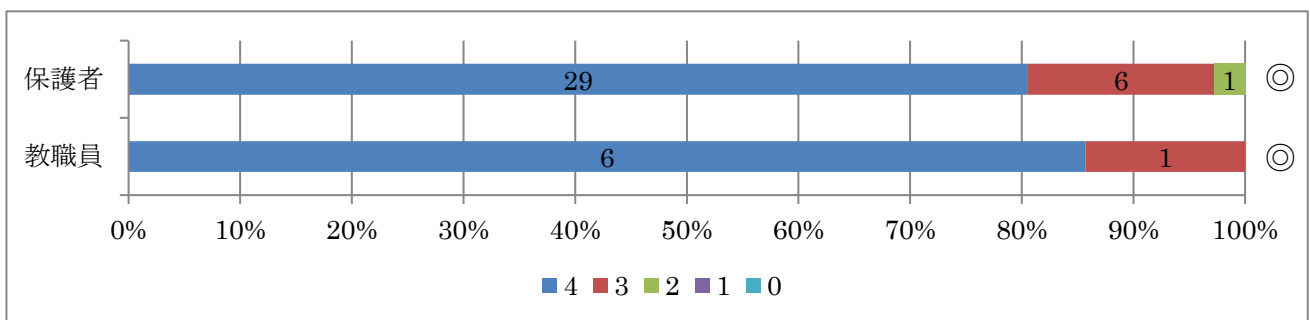
② 教育目標や目指す幼児像を教育計画に具体化し、目標達成へ努力がされたか。(教職員のみ)



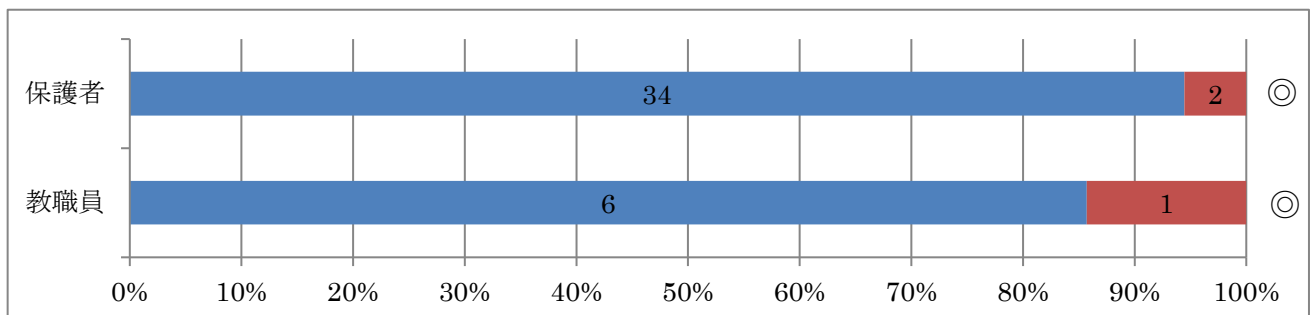
評定 A	子どもの育ちを保護者と共有できることが公立幼稚園の良さである。感染症対策のため、様々な制限をしなければならない中でも、できる限り子どもたちのありのままの姿を見てもらいたいと願いながら行事や参観日を実施することができた。新しい生活様式の基『よく遊びよく考える子』『やさしく思いやりをもった子』『たくましくやりぬく子』という本園のめざす幼児像を念頭に、状況に応じた保育の在り方を考えていきたい。
---------	---

2 保育の取組

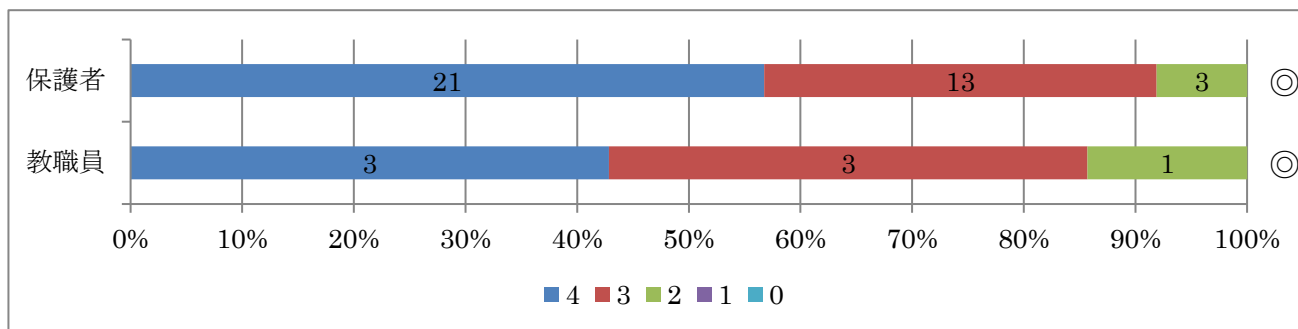
① 子どもさんは幼稚園に行くのを楽しみにし、安心して園生活を過ごしていますか。



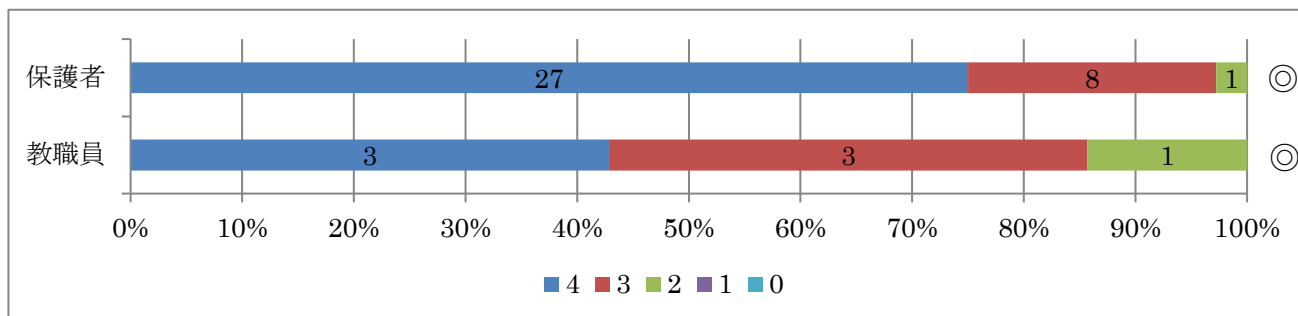
② 子どもさんは、幼稚園で友達と一緒に遊んだり活動したりする楽しさを感じていますか。



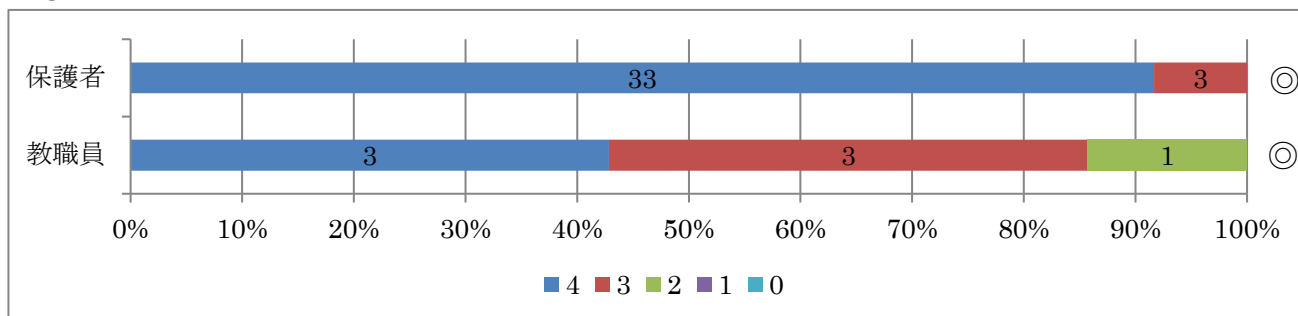
③ 子どもさんは、友達や職員とあいさつを交わす（微笑みやしぐさも含む）ことができますか。



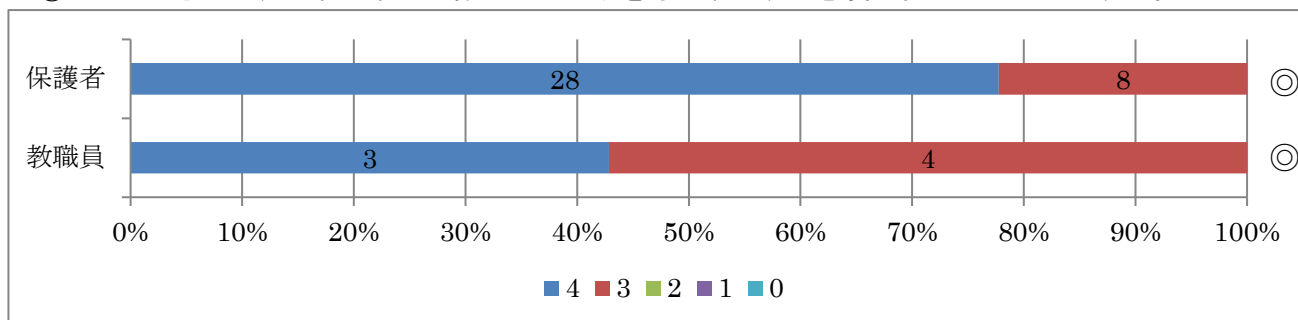
④ 子どもさんは、身近な自然と触れ合う中で生命に気付いたり、優しい気持ちをもったりしていますか。



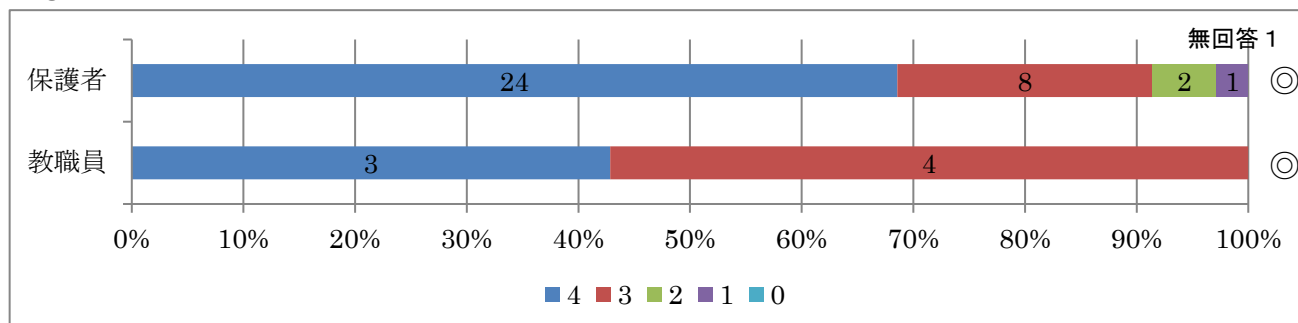
⑤ 子どもさんは、様々な表現活動（音楽・描画・製作など）を楽しみ、豊かな感性を育てていますか。



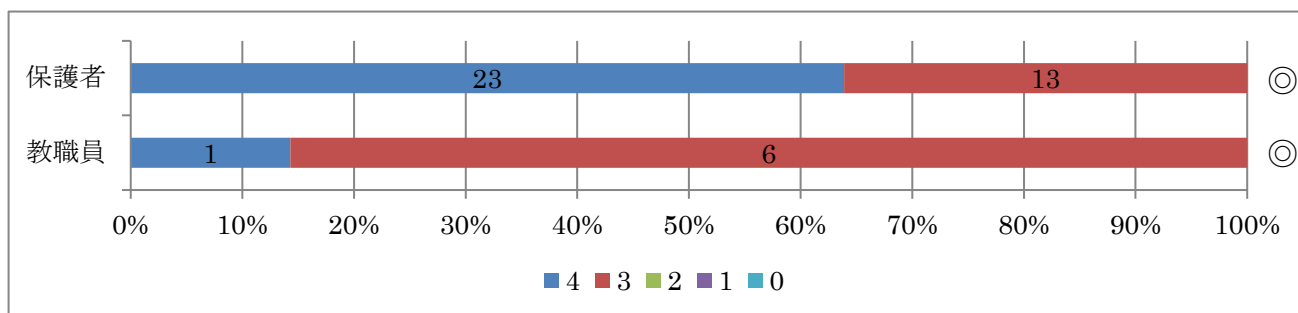
⑥ 子どもさんは、生活の中での様々なきまりを守ろうとする態度が育ってきていますか。



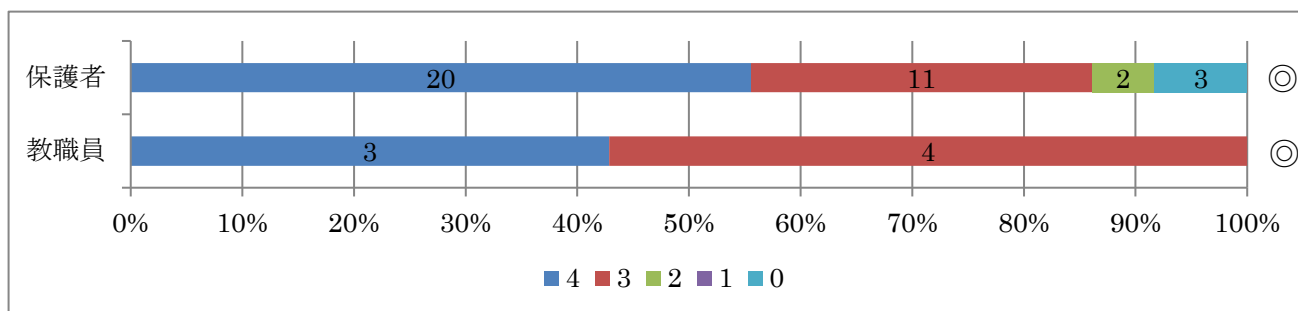
⑦ 園では、一人一人の子どもさんのことをよく理解して保育に当たっていますか。



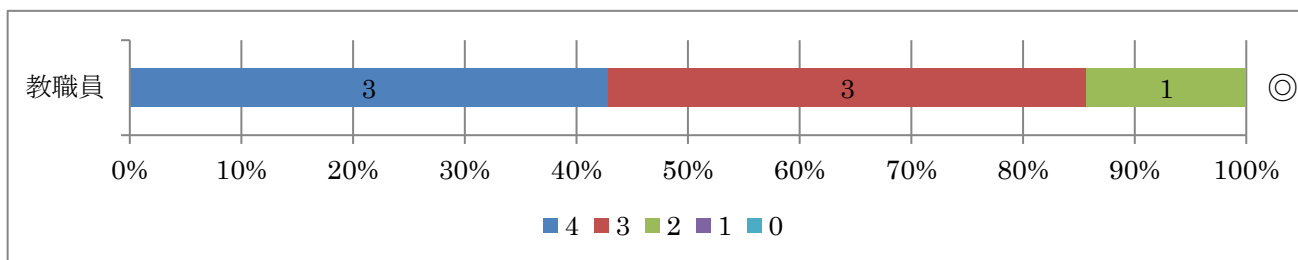
⑧ 園生活や行事の中で、人権や子育てについて、知ったり考えたりすることができましたか。



⑨ 園生活の中で安心して就学を迎えられる基盤をつくっていると感じますか。



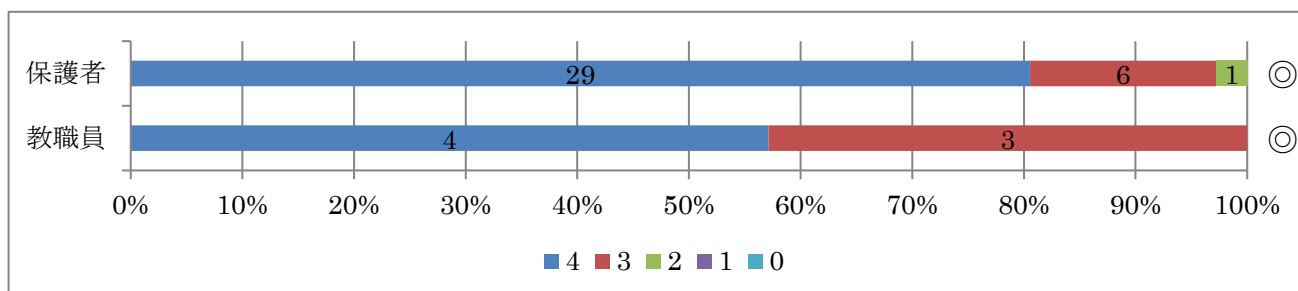
⑩ 計画的な環境構成や再構成を行い、幼児の豊かな学びとなるような遊びの場の保障や援助を行っているか。(教職員のみ)



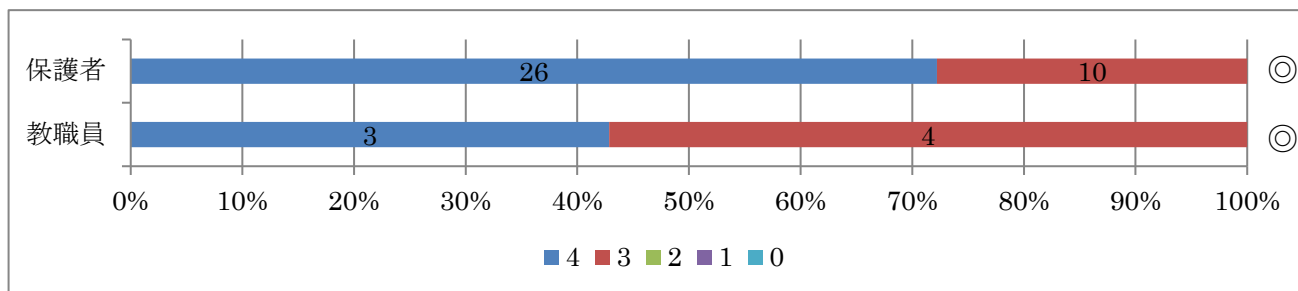
<p>評定 A</p>	<p>活動の制限がある中でも、子どもたちが関心をもっていることや経験させたいことは何かを考えながら園での生活づくりをしてきた結果、優しい気持ち・創造性・道徳性が一人一人の中に育ってきていると感じている保護者が多いことが読み取れる。</p> <p>一人一人の育ちに応じた援助ができるよう、送迎時には子どもの様子について保護者と双方向での情報交換を行ってきた。少数ではあるが低評価の結果も出てきているため、保護者の願いを受け止め一人一人のよさを伸ばしていけるよう保育の在り方を考えていきたい。</p> <p>コロナ禍において幼保小連携教育での直接的な交流ができなかった。しかし、幼児期に好きな遊びを存分に楽しむ中で人と関わる力や学びに向かう力を身につけることが安心して就学を迎える基盤となるため、今できることを大切に3・4・5歳の発達に応じた活動を今後も取り入れていきたい。</p>
-----------------	---

3 開かれた幼稚園づくり

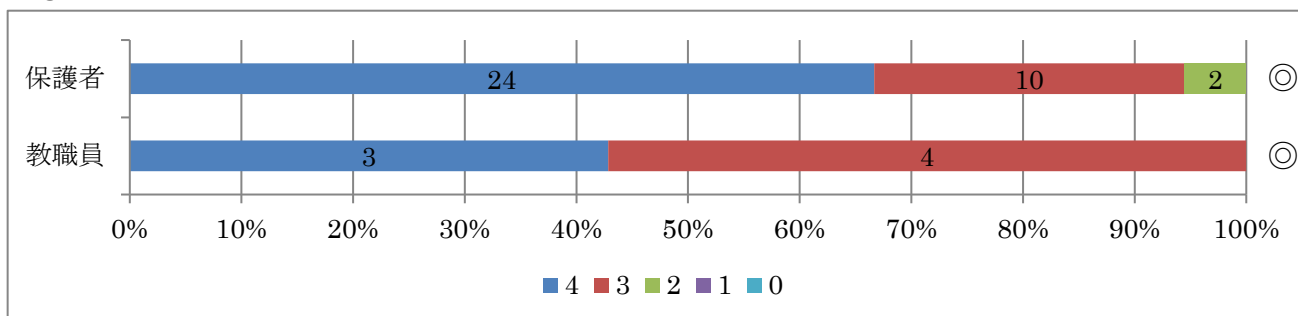
① 職員は子どもさんの様子や育ちなどの相談に応じ、信頼関係づくりに努めていますか。



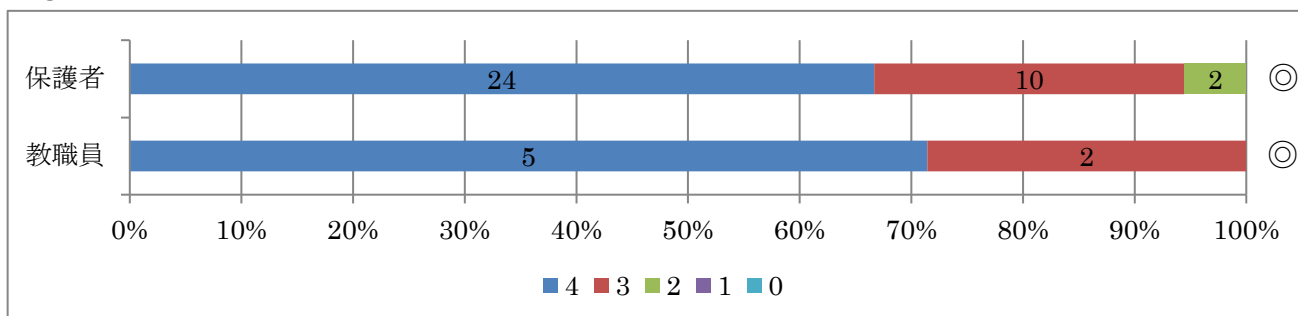
② 園便りやお便りノート・ホームページを通して園や子どもさんの様子が分かるように伝えていますか。



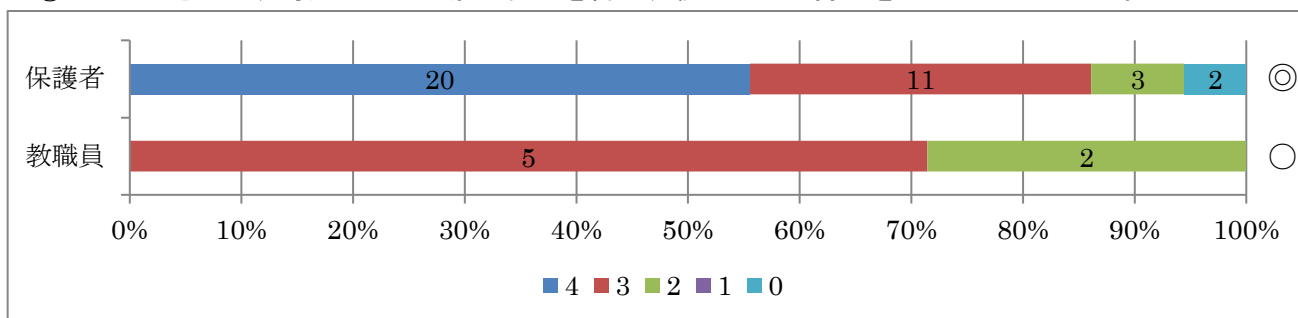
③ 園は、保護者同士が気軽にあいさつや言葉を交わせる場となっていますか。



④ P T A 諸活動（役員活動・保護者参加の行事）は状況に応じ適切に行われましたか。



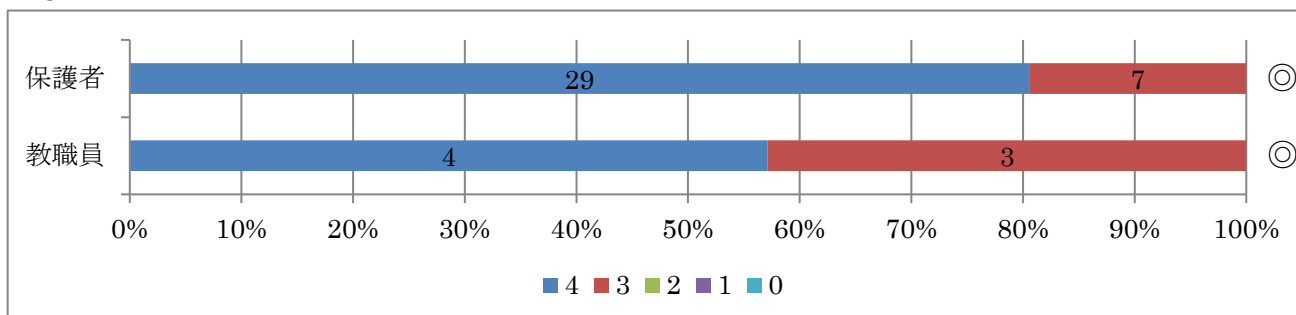
⑤ 子どもさんは、身近な人との触れ合いを喜び、親しみの気持ちをもっていましたか。



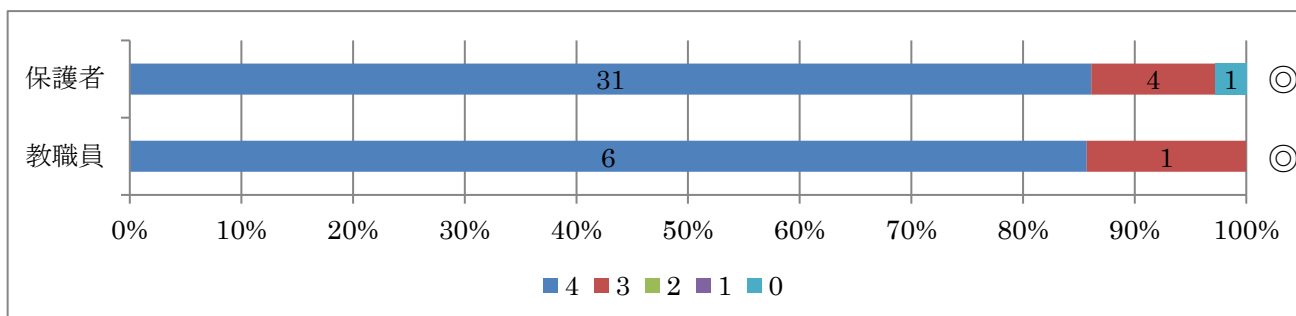
<p>評定 B</p>	<p>身近な人との関わりにおいて、やや評価が低くなった。コロナ禍において様々な機会が減少したことも理由の一つではあるが、新たな取組に対して消極的になっていたのではないかという反省点もある。</p> <p>一年を通してあいさつを大事にし、つながりを深めていけるよう努力したことで成果も見られた。一方で地域の人への声掛けについては消極的であるという課題も出てきた。</p> <p>家庭連携においては評価が低い保護者もいる。子どもも保護者も安心して過ごせるよう、さらなる信頼関係づくりに努めていく必要がある。</p>
-----------------	---

4 園運営（学校安全・学校保健）

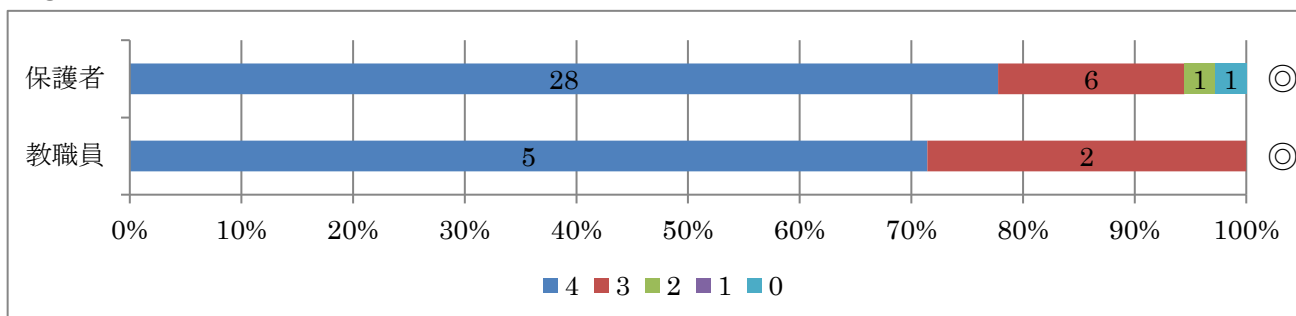
① 幼稚園の施設や遊具は安全でよく整備・管理されていますか。



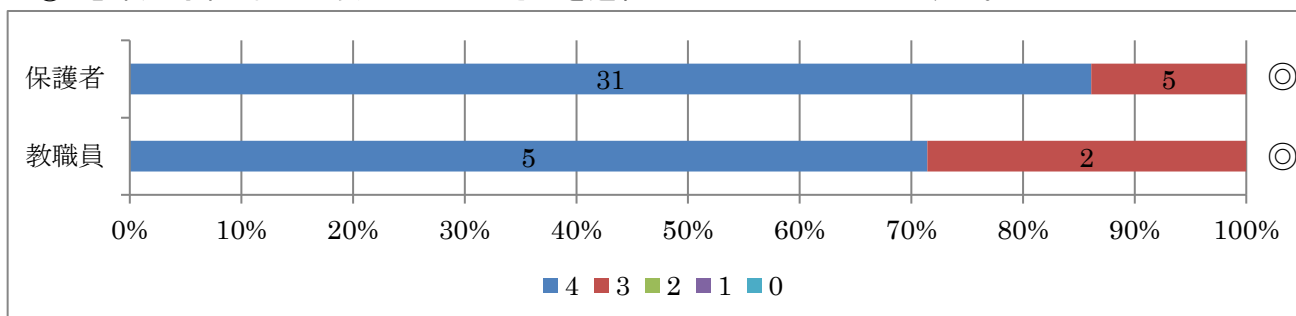
② 安全指導や避難訓練などが適切に実施され、災害に関する指導が行われていますか。



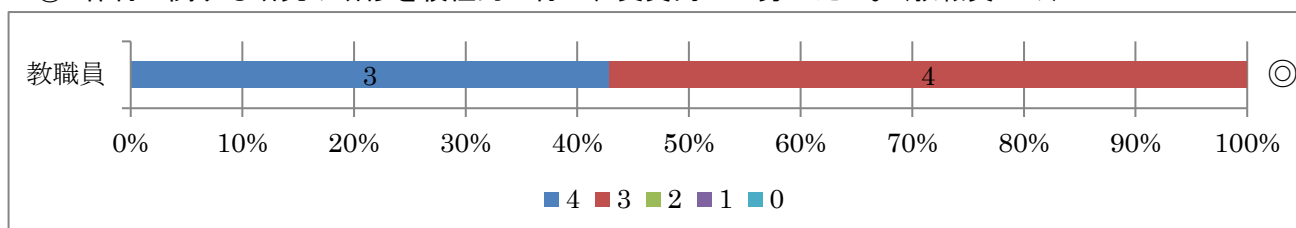
③ 園からの緊急連絡がスムーズに伝わるような工夫がされていますか。



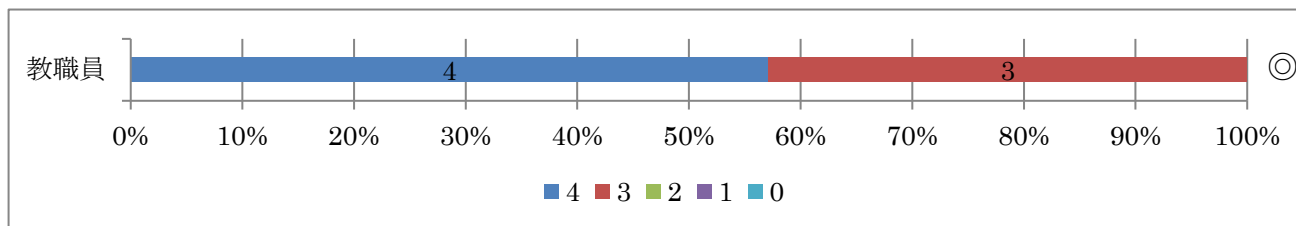
④ 感染症対策の面で不安なく子どもさんを通わせることができますか。



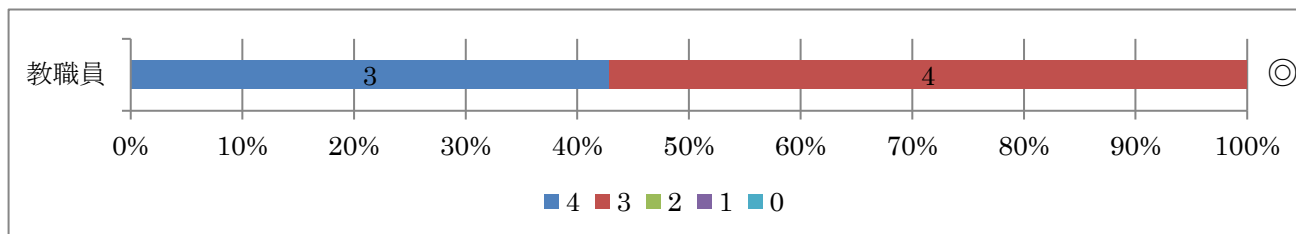
⑤ 保育に関する研究や研修を積極的に行い、資質向上に努めたか。（教職員のみ）



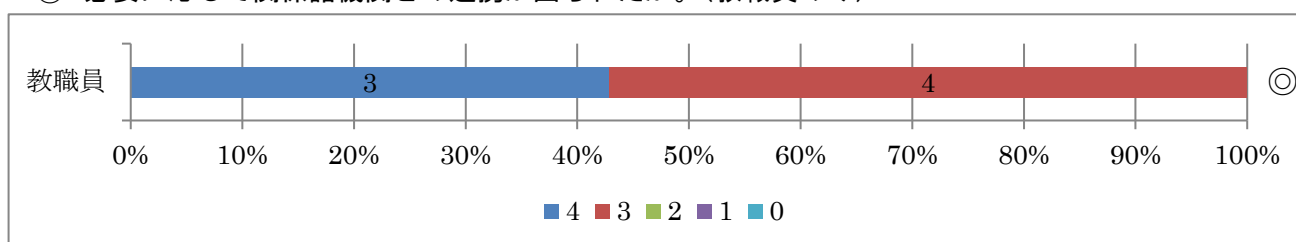
⑥ 計画的に効率よく職員会が行われ、全職員での情報共有ができたか。(教職員のみ)



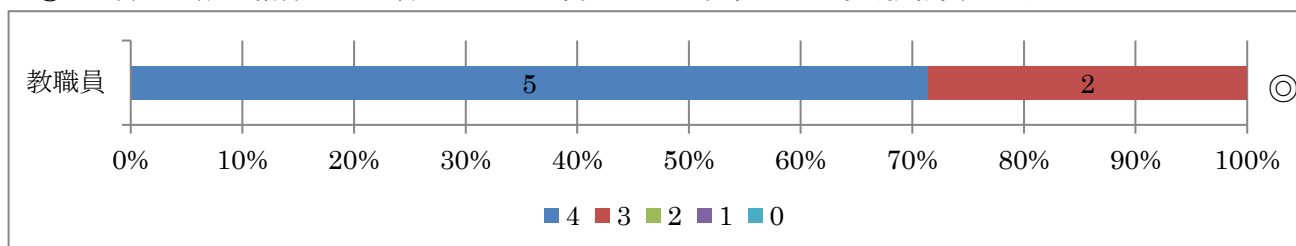
⑦ 職員間で連携し、園運営に積極的に携わったか。(教職員のみ)



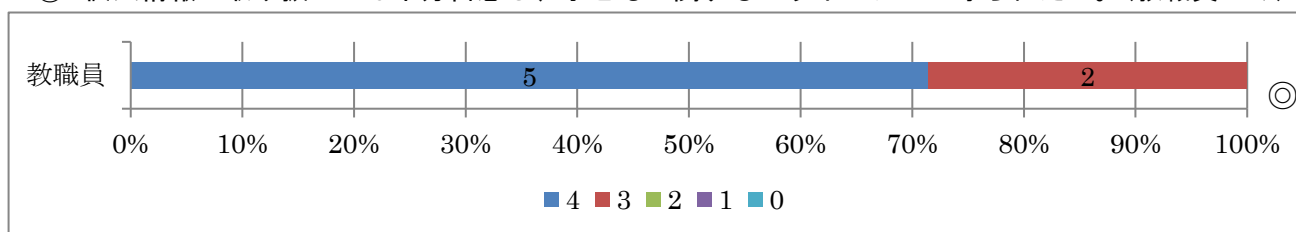
⑧ 必要に応じて関係諸機関との連携が図られたか。(教職員のみ)



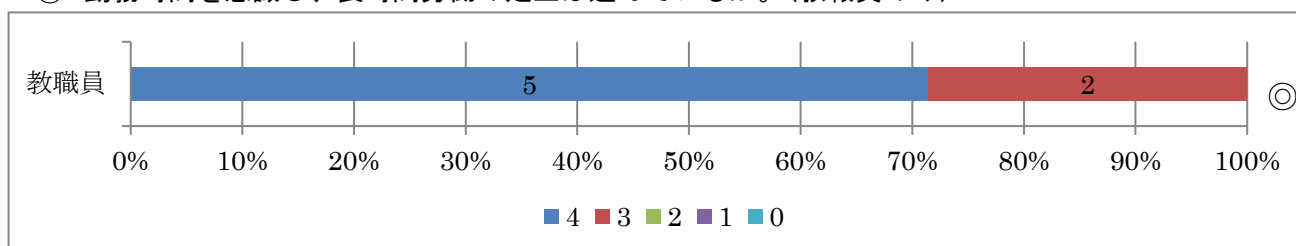
⑨ 文書・金銭・備品などの管理および運営は適切に行われたか。(教職員のみ)



⑩ 個人情報の取り扱いには十分留意し、子どもに関するプライバシーが守られたか。(教職員のみ)



⑪ 勤務時間を意識し、長時間労働の是正は進んでいるか。(教職員のみ)



評定 A	子どもも保護者も安心・安全に通うことができるよう全職員で協力しながら園運営に取り組んできた。特に、感染症対策においては子どもたち自身も新しい生活スタイルを守りながら元気に過ごせた。防災教育については自分たちのことと捉え、大切な命を守るよう訓練等を積み重ねることができた。 園務に関しては、保育にまつわる仕事は多岐に渡るため簡略化が難しいところもあるが改善できる部分はないか考えていきたい。
---------	---

古城幼稚園の良いところであると思われる点子どもの姿や育ちに関して

- 子どもがのびのびと遊んだり活動したりし、子どもが楽しく通えている。(複数)
- 一人一人のやりたいことや好きなことを大切にしている。(複数)
- 少人数であるが異年齢でよく遊んでおり、みんなの仲が良い。(複数)
- 子どもに思いやりの気持ちが育ったり、決まり事を守るようになっていたりしている。
- ◇ 子どもがのびのびと園生活を楽しんでおり、異年齢間で親しみをもって関わっている。
- ◇ 全職員で情報共有できるよう意識されており、職員同士で安心感がもてる。(複数)
- ◇ 子どもの育ちについてどの保護者とも気軽に話せる雰囲気がある。
- ◇ 職員間でよいつながりがもてており、子どもや保護者への関わりに反映されている。

保育内容や職員の関わりに対して

- 一人一人の子どもを見てくれているので親子で安心して通える。(複数)
- 職員がその日の様子を伝えてくれる。(複数)
- 未就児を含めてどの子にも職員みんなが声をかけてくれ、アットホームである。(複数)
- 季節の行事を大切にしている。
- 全職員の共通理解のもと、子どもに必要な支援をしてきている。
- 子どもたちが過ごしやすいような工夫がされている。
- のんびりとした優しい雰囲気があり、通わせてよかったと思える。
- 感染症対策がしっかりとされている。
- 設備や衛生面がきちんとしている。
- 園に要望したことが改善されている。
- ◇ 行事の簡素化については子どもにとって必要な体験を考えながら取り組めた。
- ◇ 限られた時間の中で要点をしぼり、効率よく職員会ができた。
- ◇ できる範囲での感染症対策を継続できた。

課題点や改善点保育内容や職員に対して

- 安心して通えているので、課題は全くない。(複数)
- 子どもの人数が減っているのが心配である。
- 就学前には文字の練習をさせてほしい。
- 気軽に情報交換ができにくくなった。
- ◇ 少人数保育の課題について考えていかなければならない。
- ◇ これまでの関わりを振り返ると地域とのつながりが薄く、子どもたちが親しみをもつまでには至っていない。
- ◇ 農園が離れているため、子どもたちの意識が持続しにくい。

保育形態・役員・施設面について

- 預かり保育や延長保育を希望する。(複数)
- 園庭開放の時間を町立幼稚園両園で揃えたり、小学校の行事との兼ね合いに配慮したりしてほしい。
- 一度役員になった人は免除するなど考慮してほしい。
- 北側駐車場のサクラの枝が危ない。
- ◇ 今年度より午前保育日がなくなったため、降園後に保育準備や研修時間を確保するのが難しい。

学校評価委員からの意見（抜粋）

- ・ 子どもは楽しく通園し、保護者も安心して子どもを預けている。職員もまとまりがあり、園全体のことをよく考えている。来年度も改善点について試行錯誤しながら古城らしい園生活をしていければよい。
- ・ コロナ対策をしながら子どもの育ちに目を向け実践するのは大変なことであるが、信頼関係のもとで安心して園生活が送れていることが読み取れた。他機関と個別の情報交換をしているケースにおいても、古城幼稚園はいつも丁寧な関わりをしていると感じる。アンケートを振り返ることは園の良さの再確認と課題の明確化ができ、より豊かで充実した園生活につなげられる。今後も地域と共に目標達成へ向けて取り組んでほしい。
- ・ コロナ禍においても高評価であるのが素晴らしい。日頃から職員が共通理解を図りながら保育に対して真摯に取り組み、子どもが好きな遊びを存分にできる環境をつくっているからこそその結果である。子どもと地域住民の関わりが必要な機会にはぜひ声をかけてほしい。保育の取組③の結果が目標達成できるよう『握手の会』の活動を継続していきたい。古城幼稚園が地域になくてはならない園として子どもも職員も輝き、笑顔あふれる園であり続けてほしい。
- ・ 農園活動で必要なことがあれば地域住民として手伝えるかもしれないので声をかけてほしい。
- ・ 新型コロナウイルスが落ち着かない不安な状況の中、園運営や保育態勢等において大変な苦労があったことだろう。ほとんどがA評定であり、保護者・教師が共に同じ方に向けて子どもの育ちを保障していることが分かった。幼稚園教育というよりは保護者のニーズに応じた子育てが重視されている社会になってきていると感じる。行政とよく相談し、どうすればよいか考えを出し合い、少人数保育の良さを生かしながら存続できる方向を探してほしい。これからも子どもたちの笑顔を大切にしてほしい。